

冬季野外活動		ウィンタービンゴ	
ねらい	雪の小道を歩きながらビンゴゲームを行う中で、五感を働かせて自然からの発見や感動を得る。		
対象	小学生から大人まで		
可能人数	多人数可能		
所要時間	1～2時間	活動場所	動植物観察コース1・2（初級） 広葉樹・針葉樹観察コース（初級） 坪岳コース、ボウボ岩コース、 藤巻山コースでも可
準備物	《個人・団体で用意する物》 救急薬品、筆記用具、ビニール袋	《自然の家で用意できる物》 長靴、かんじき、スノーシュー、ストック、ループ、ワークシート、マップケース（ワークシートを入れるクリアケース）	
活動の手順	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長靴の上に、かんじき又はスノーシューを履きます。 2. ワークシートを配り、活動の手順について説明します。 (1) 森の中に入って、解答用紙に書いてあるものを見つけてください。それぞれの見つけるものとマークが書いてあります。マークの意味は… (2) 縦、横、ななめが揃うとビンゴです。たくさん発見してたくさんビンゴを作ってください。 (3) 個人行動をとらずにグループで一緒に見つけてください。誰か一人が見つけたら、必ずグループの友だちに教えたり話し合ったりしてください。 3. 活動の範囲や集合場所、制限時間、安全上の注意について説明します。 4. グループごとに探しに出かけます。 5. 時間になって参加者が集まったら、ウィンタービンゴを通して見つけたものの中で特に印象に残ったもの、それを見つけたときに気づいたことや感じたことを各自で振り返ります。 6. 各自で振り返ったことについて発表し合います。 (1) 発表の際に気をつけることを説明します。 ・発表する人は、見つけたものの中で印象に残ったものについて発表するとともに、それを見つけたときに気づいたことや感じたことも発表する。 ・発表を聞く人は、友だちの発表を否定するのではなく、自分とは違う感じ方に素直に耳を傾け、自分の考えを拡げるつもりで聞くようにする。 (2) グループ内で、各自の印象に残ったものや感じたことを発表し合います。 (3) 友だちの発表を聞いて新たに気づいたこと、このプログラムを通して感じたこと、友だちの行動で感心したことなどを全体の場で発表する。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の発見を共感的な姿勢で受け止め、些細なことでも褒めるようにしましょう。また、子どもと一緒に驚いたり楽しんだりすることも大切です。発表の場面では、一人の子どもの気づきを全員の共通認識として上げられる言葉を返してあげましょう。 ・ビンゴになった数を聞いてもいいですが、あまり勝敗にはこだわらないようにしてください。 ・このビンゴに正解はありません。子どもの見つけたもの、感じたことが全て正解です。もしも、この糞が何の動物のものなのか調べたいということになったら、資料を貸し出しますので、事務室に声を掛けてください。 		